

平成31年2月12日

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」

第1回ピッチイベント及び第2回ピッチイベントの開催

【自社製品やサービスを紹介する民間事業者及び傍聴者の募集】

地方自治体が抱える施設管理の課題に対し、課題解決に繋がる技術を民間事業者が紹介するピッチイベントを下記のとおり開催します。

つきましては、別紙-1に示す4つの課題(テーマ)に対し、課題解決に繋がる自社製品やサービスを紹介する民間事業者を募集します。また、イベントの傍聴者も同時に募集します。

自社製品やサービスを紹介したい民間事業者、また、イベントの傍聴を希望される方は、それぞれ別紙-2及び別紙-3の申込み要領に沿って申込み手続きを行ってください。

なお、紹介された技術等の中から地方自治体の課題に適応する可能性が高いと認められた技術については、実用化の可能性を検証するための現場実証試験の実施を想定しています。なお、実証試験に要する諸費用については、原則として民間企業のご負担とします。

記

<第1回:広島会場>

- 開催日時 : 平成31年2月27日(水) 13:30~16:30
- 開催場所 : 広島合同庁舎4号館13階 9号会議室 (広島市中区上八丁堀 6-30)
- 対象テーマ : 別紙-1に示す No.1「橋梁点検を支援する技術」
No.2「塩害橋梁の塩害進行度の把握技術」

<第2回:米子会場>

- 開催日時 : 平成31年3月4日(月) 13:30~16:30
- 開催場所 : 鳥取県西部総合事務所 講堂 (本館B棟2階) (鳥取県米子市糀町 1-160)
- 対象テーマ : 別紙-1に示す No.3「舗装の損傷状況の実態把握」
No.4「伸縮装置撤去時の騒音対策及び時間短縮」

お問い合わせ先

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」 企画委員会

ふじいともゆき てんましんじ
藤井友行、天満真士 (復建調査設計株式会社)

E-mail : jcim-chugoku@fukken.co.jp

TEL : 082-506-1814

FAX : 082-506-1891

テーマ No. 1 : 橋梁点検を支援する技術

【現 状】

- ・ 桁下高や桁高が大きい橋梁や橋長が長い橋梁等の大規模橋梁においては、大型橋梁点検車やロープアクセスによる点検を実施している。
- ・ 小規模橋梁においては、交通規制を行うことができないものや、幅員が狭く点検車の乗り入れができないもの、流水や高低差等が支障となり橋梁下面への立入りが困難なものについては、吊り足場やロープアクセスによる点検を実施している。
- ・ 橋梁下面に立ち入ることが可能であり、脚立を用いることで近接目視が可能な橋梁は、職員による点検を実施している。

【課 題】

- ・ 大型橋梁点検車やロープアクセス、高所作業車による点検等、点検に用いる方法が複数あるなかから、経済性や効率性に優れた組み合わせを見つけ出すことに苦慮している。
- ・ 小規模橋梁の点検に足場を用いると、設置・撤去に要する期間や費用の面から非効率となる。
- ・ 人員不足や安全管理面の問題、専門性の高い器具を用いることが難しいこと等により、地方自治体の職員による点検が行える箇所は限られている。
- ・ 点検データの整理、データベース化やアセットマネジメントへの活用が図られていない。

【求める技術】(いずれか一つの項目に当てはまる技術であればよい)

- ・ 支承等の狭小部においても部材の状態が把握可能な技術
 - ・ 流水や地中等の障害に対し部材の状態が把握可能な技術
 - ・ 点検後のデータ整理や活用に時間と労力を要さない技術
- ※提案する技術は、次のア)、イ)について配慮されたものがより良い
- ア) 地元企業においても用いることが可能なオープン技術
 - イ) 地方自治体の職員でも取り扱いが可能で、安全性や操作性、効率性等に優れる技術

テーマ No. 2 : 塩害橋梁の塩害進行度の把握技術**【現 状】**

- ・ 橋梁の塩分量調査は、コンクリートはつり、コアドリル、コアボーリングにより試料を採取し、コンクリート中の塩分量を測定している。
- ・ 定期点検の実績が増加することに伴い、塩害により損傷した橋梁の存在が明らかになってきた。
- ・ 鉄筋やPC鋼線の腐食がかなり進行した段階で、塩害によるひび割れや錆汁が発生することから、早期に塩害の進行状況を把握することが重要である。

【課 題】

- ・ 塩害損傷の初期段階を外観変状のみから、判別することは困難である。
- ・ コア採取箇所が限定的であるため橋梁全体の塩害状況の把握が困難である。
- ・ 足場の設置や試料採取に時間と費用を要する。
- ・ コア採取では鉄筋やPC鋼線の切断など橋梁を傷つける恐れがある。

【求める技術】(いずれか一つの項目に当てはまる技術であればよい)

- ・ 非破壊検査により広範囲で鋼材位置までの塩分の浸入状況(塩分量)を把握できる技術
- ・ PC鋼線の損傷程度または破断の有無を調べる技術
- ・ シース内のグラウト充填状況を調べる技術
- ・ 安全性、経済性、確実性に優れる技術

テーマ No. 3 : 舗装の損傷状況の実態把握**【現 状】**

- ・ 道路巡回時のパトロールカーの車内からの目視点検と定期的な路面性状調査により、舗装の損傷状況の実態を把握している。
- ・ 路面性状調査では、ひび割れ率、わだち掘れ量、平坦率の3項目について、調査を実施している。

【課 題】

- ・ 道路巡回時の目視点検は、定量的な評価が難しく、巡回実施者ごとに評価が異なる。
- ・ 路面性状調査は定量的な判断が可能になるが、調査費用が高く頻繁に実施できない。
- ・ 路面性状計測車を用いた3項目の調査費用が高価である。
- ・ 路面性状計測車を用いない調査方法が様々あるため1つの方法に絞り切れない。

【求める技術】(いずれか一つの項目に当てはまる技術であればよい)

- ・ 簡易にまた、定量的に損傷状況を把握できる技術
- ・ 損傷の進行が早い箇所について、日々の状況変化を把握する技術
- ・ 管理する路線の全長、全幅にわたっての状況を、正確に定量的な把握ができるとともに安価な技術

テーマ No. 4 : 伸縮装置撤去時の騒音対策及び時間短縮

【現 状】

- ・ 橋梁伸縮装置の取替工事において、後打ちコンクリートをブレイカーにより破碎し撤去していることから、騒音が大きい。

【課 題】

- ・ 伸縮装置と主桁は後打ちコンクリート内部で鉄筋等が溶接されているため、ブレイカーによる破碎作業は慎重に行わざるを得ないことから、時間を要する。
- ・ 高架橋の場合に桁下利用者や周辺住民からの苦情が続発する。
- ・ 音が橋梁と地面とで反響しあって減衰しない。
- ・ 作業時間が長く、騒音の影響時間が延びる、通行規制日数が増加する。
- ・ 日々の作業後に交通解放する場合、埋戻しと翌日の掘削作業が生じる。

【求める技術】(いずれか一つの項目に当てはまる技術であればよい)

- ・ 伸縮装置の取替工事の際に騒音が発生しにくく、短時間で施工できる製品や工法
- ・ 新設後の設計供用期間中に取替えが不要な耐久性の高い製品や工法

申 込 み 要 領

【自社製品やサービスを紹介する民間事業者】

1. 参加資格

地方自治体が抱える施設管理の課題解決に繋がる技術を持つ民間企業等

2. 申込み手続き

申込み方法：提出資料を電子メールにて申込み先に送付

提出資料：① 自社製品やサービスの紹介希望者 申込書(別紙－5)

② 紹介を予定している技術の概要、コスト、適用条件、
アピールポイント、開発状況、その他参考内容
(任意様式A4×1枚程度)

③ 実施事例がある場合は状況写真等(任意様式A4×1～2枚程度)

申込み先：インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」企画委員会(事務局)

ふじいともゆき てんましんじ
藤井 友行、天満 真士 (復建調査設計株式会社)

メールアドレス: jcim-chugoku@fukken.co.jp

3. 参加申込み及び提出期限

提出資料①:平成31年2月20日(水) 17:00まで

提出資料②及び③:平成31年2月25日(月) 12:00まで

4. 参加者の決定

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」企画委員会(事務局)において申込み者の中から書類選考により決定(各テーマ毎に数社を選定する)

5. 選考結果の通知

平成31年2月22日(金)までに申込み者の連絡先に通知

6. 留意事項

参加申込みに際しては、別紙－4の留意事項をご確認ください。

申 込 み 要 領

【傍聴者】

1. 申込み手続き

定 員 : 広島会場 60名(申込み先着順)

米子会場 100名(申込み先着順)

申込み方法 : 傍聴者申込書(別紙－6)を電子メールで下記の申込み先に送付

申 込 み 先 : インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」企画委員会(事務局)

藤井 友 行、天満 真 士 (復建調査設計株式会社)

メールアドレス: jcim-chugoku@fukken.co.jp

2. 申込み期限

平成31年2月25日(月) 17:00まで

3. 留意事項

参加申込みに際しては、別紙－4の留意事項をご確認ください。

4. 備 考

傍聴希望者が多数の場合は、申込み先着順とさせていただきます。

留 意 事 項

【自社製品やサービスを紹介する民間事業者及び傍聴者】

【知的財産権に関する主な留意事項】

- ピッチイベントは、オープンな場として運営することを基本とし、自らの技術を紹介する場合には、自らの責任においてこれを行うことが求められており、秘匿すべき情報はその場に持ち込まないことを前提とします。
- 一方、議論する中で様々なアイデアが出されることが想定され、これを基に、ある参加者が発明を創出し、特許出願などにより知的財産権が成立する可能性も否定できません。
- アイデアを得て参加者が技術開発を行い、発明に至った場合や申請を行った場合には、技術開発を行った者に知的財産権が認められるものと考えられます。
- また、議論を通じ、技術開発の共同グループが形成される場合には、知的財産の取扱いについて、あらかじめ当事者間で取決めておくことが望ましいです。
- 参加者は、この基本的な考え方に同意して出席する必要があります。

【著作権に関する主な留意事項】

- 参加者は、提出した資料等に係る著作権に関し、企画委員会等が当該資料を利用（複製や公衆通信などを含みます）することを許可することとし、また著作者人格権を行使しないことに同意することとします。
- また、参加者は、提出資料に記載された文書、図表、写真、イラストなどの著作権等に留意し、使用許可が必要な場合は、参加者の責任において必ず許可を得ておくこととします。

※参加者には、「インフラメンテナンス国民会議運営上の知的財産の取扱いに関する事前の取決めとなるガイドライン」を通知いたします。

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」 第1回ピッチイベント及び第2回ピッチイベント 自社製品やサービスの紹介希望者 申込書

平成 31 年 2 月 日

参加を希望する テーマNo.	<input type="checkbox"/> No. 1 : 橋梁点検を支援する技術【2/27(水)・第1回】		
	<input type="checkbox"/> No. 2 : 塩害橋梁の塩害進行度の把握技術【2/27(水)・第1回】		
	<input type="checkbox"/> No. 3 : 舗装の損傷状況の実態把握【3/4(月)・第2回】		
	<input type="checkbox"/> No. 4 : 伸縮装置撤去時の騒音対策及び時間短縮【3/4(月)・第2回】		
フリガナ			
企業・団体 名 称			
フリガナ	〒		
所 在 地			
フリガナ			
プレゼン 者 氏 名			
フリガナ		フリガナ	
所 属		役 職	
連 絡 先 メールアドレス			
電 話 番 号			

注意事項

1. 申込みは、参加希望テーマごとに行ってください。
2. 申込みの際の電子メールの件名は、「自社製品やサービスの紹介希望者申込み」としてください
3. 申込みにあたっては、本申込書とともに以下の資料の提出をお願いいたします。
 - ① 情報提供を予定しているシーズ技術の概要、コスト、適用条件、アピールポイント、開発状況、その他参考内容を記した資料(任意様式A4×1枚程度)
 - ② 実施事例がある場合は実施内容や実施状況等がわかる資料(任意様式A4×1～2枚程度)
4. ご記載いただいた個人情報は、ご本人の同意なく当ピッチイベント以外で利用することはありません。

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」 第1回ピッチイベント及び第2回ピッチイベント 傍聴者 申込書

平成 31 年 2 月 日

傍聴を希望する 会 場	<input type="checkbox"/> 広島会場 (平成31年2月27日(水) 広島合同庁舎4号館・共用9号会議室)		
	<input type="checkbox"/> 米子会場 (平成31年3月4日(月) 鳥取県西部総合事務所・講堂)		
フリガナ 企業・団体 名 称			
フリガナ 参加代表者			
フリガナ 所 属		フリガナ 役 職	
フリガナ 所 在 地	〒		
連絡先 メールアドレス			
電 話 番 号			
	氏 名	所 属	役 職
参加者 ②			
参加者 ③			
参加者 ④			
参加者 ⑤			

注意事項

1. 申込みの際の電子メールの件名は、「ピッチイベント傍聴者申込み」としてください。
2. ご記載いただいた個人情報は、ご本人の同意なく当ピッチイベント以外で利用することはありません。